

100キロ先にあるもの 3回目の完歩

2100 大田米男 (62歳) 小倉南区 (株)ダイフク 記録 18時間 23分 3回目

100キロ先にあるもの それは

【達成感】辛さ苦しさを乗り越えやっとゴールした気持ち。なんとも表現できない嬉しさと感動。設定目標に対し満足した結果。 無傷?で完歩できたこと。

よく「楽しんで歩く」と聞くけど、この100キロウオークは楽しんで歩けない。本当に苦しい、辛いコースだがこれを乗り越える勇気と根性。

何のために、なぜそんなになってまで歩くのか?という人がいるが、それは自分のため。

決して健康の為にならない100キロウオーク。

それは

【開放感】もう歩かなくてもいい。ビールが飲める。 ひっくり返って寝てもいい。温泉に入れる。体の痛さをがまんしなくていい。背負っていたリュックを投げ出してもいい。シューズを脱いでもいい。空腹を我慢しなくていい。・・・今夜は別府温泉に泊まり大宴会。 と思っていたが睡魔には勝てず。

それは

【連帯感・一体感】同級生との絆を再確認。寝ないで一晩中応援を受けて感動。

年に一回のお祭り騒ぎで大盛り上がり。同級生っていいなー。

一緒に歩いた仲間との絆。抽選にもれた仲間・訳あって参加不可能になった仲間との絆。

応援してくれた家族との絆。ゴールに来てくれた家族。

それは

【感謝】100キロという途方もない距離を歩ける体に産んでくれた両親。

このウオークを企画・準備・実行してもらった実行委員会に感謝。

応援してくれた友達に感謝。家族に感謝。肉刺(まめ)防止を教えてくれたゼビオのIさん。

おかげさまで肉刺(まめ)はできなかった。

すべての関係者に感謝。・・・来年も絶対に参加したい。

そして最後に

【アル中】となった。・・・【歩く中毒】です。